広告

誰も理解してくれず、ひとりで悩んでいる方へ

〝聞こえの悩み〟に、ある「成分」が大注目！意外な方法でついに光明が！

取材・文／医療ライター　西川 良

耳の痛い話だが、高齢化が社会問題化している日本において、〝聞こえの悩み〟を抱える人が増えているという。

年齢を重ねた人であれば誰にも訪れると思いがちだが、他の悩みに比べて根が深い側面がある。それは、日々つらさを目の当たりにしている、当の本人にしかわからない。

「四六時中頭の中に鳴り響いて眠れない」、「テレビの音量を上げると家族から文句を言われる」、「会話の内容が理解できず疎外感を感じる」など、雑音や直接的な聞こえの不具合だけではなく、生活習慣や人間関係、さらには精神面にまで悪影響を及ぼすケースも多い。

そして最も厄介なのが、原因の特定しづらい悩みだけに、診てもらったところで「年齢のせいです」の一言で済まされがちなこと。ただでさえ普段から他人につらさを理解してもらえないというのに、専門家からもさじを投げられてしまう。

すると当然のように、「もうクリアな毎日に戻ることはないのか…」と諦め、家から出なくなる、電話や会話自体を避けるといった、塞ぎがちな生活に拍車がかかってしまう。

このように〝聞こえの悩み〟は生活の質に直結することで、健康寿命が縮まるとすら指摘されているため、諦めてはいけない大問題なのだ。

絶望とも言えるような状況下でも、「聞こえを絶対に諦めたくない」と強い意志を持つ人たちの間で、密かにお取り寄せされている噂のサプリメントがあるという。気になる商品名は、『ハチの子８００＋』。

さまざまな〝聞こえの悩み〟ケアを試した方は多いはずだが、はたしてあなたはその時満足できる結果を得られただろうか？ 取材する限りでは、ＹＥＳと答えられる人は少ないのが現実だ。

一方で、『ハチの子８００＋』は、試した86％もの人が結果に満足※1して飲み続けているという。違いは一体どこにあるのだろうか？ 販売元の株式会社リアルメイト（愛知県名古屋市）商品開発部の舩橋祐司氏を取材した。

「**薬**屋として創業した弊社は、そもそも代表が薬剤師なんです。お客様と直に接しながらお悩みをうかがううちに、そういう場所で出すものはつらさを抑えるだけで、原因の解決にはならないことに気付かされました。だから、また時間が経てば元に戻ってしまう。欲しいのは、〝聞こえの悩み〟を根本原因から解決できるものです。文献を漁った末に行き着いたのが、体全体の流れをコントロールすることで悩みを改善するという、漢方の考え方。そしてついに、『これしかない！』という素材を見つけたんです」

唯一のものとの出会いについて語る舩橋氏。その言葉がますます熱を帯びる。

「それが、蜂の子でした。大学など多くの研究機関が〝聞こえの悩み〟への有用性に注目するも、まだまだ研究の余地が残されているほど未知の可能性を秘めた、素晴らしい素材なんです！ ところが詳しく調べてみると、配合量や素材の質によっては、思うような体感が得られないという欠点が…。『それならば、高品質の蜂の子だけを使用した贅沢な配合量※2のサプリを作って、毎日ひとりで悩んでいる方に届けたい』その一心で苦心の末完成したのが、当商品なんです」

結果を目的に開発しただけに、ローヤルゼリーの約３倍ものアミノ酸含有量を誇る蜂の子を、なんと８００mgという驚くべき量で配合。しかもただの蜂の子ではなく、アミノ酸が最大量となる、貴重な生後21日目のオス蜂の子のみを使用。さらに、体に吸収されにくい特徴のある蜂の子の栄養分を、特許取得※4の２段階酵素分解を用いることで、飛躍的な吸収率のアップに成功。

さらなる満足を追い求めた結果、体のめぐりを整える「イチョウ葉エキス」、ストレスに働く「ＧＡＢＡ」を追加配合。今までの商品とは一線を画する贅沢な完成度※2に、〝聞こえの悩み〟ケアを諦めていた人から、感動の声が止まないという。

20年前の約43％増となる、約43兆円という医療費の大幅な高騰も叫ばれている昨今。これほどの逸品サプリがワンコインで手に入るのはうれしい限り。この機会に試してみては？

※2 1日当たりの蜂の子配合量800mg　※3 日齢19～23日目の蜂の子のアミノ酸含有量試験済（日本食品分析センター）　※4 特許第3845656号